



# こやの里だより

(第6号)

令和5年9月1日(金)

兵庫県立こやの里特別支援学校  
校長 石川 勝己



～自然に学び～ 希望を持つ

分教室教頭 松本 里華

暑かった今年の夏も処暑を過ぎました。皆さんはどのような夏を過ごされたのでしょうか。季節は秋に向かっていきます。秋は実りの秋。長い日数をかけ大事に育ててきた作物が収穫の時を迎えます。日照りや長雨、時には台風の進路に気をもみながら、丹精を尽くして結実したもので私たちの暮らしを豊かにしてくれます。そのように手間暇かけて育てたものでも、ひとたび強風が吹けば、それまでの苦労が一瞬にして水の泡になってしまいます。このようなニュースを聞くと、自然の前では人間がいかに小さく無力な存在であるかを感じます。

日々の生活でも、一生懸命努めても自分の力ではどうしようもないことがあります。そんな時は不運を嘆き悩みます。ただ、済んでしまったことやどうにもならないことを思い煩っていても事は進展しません。とにかく一歩を踏み出し、何度もつまづき窮地に立たされても希望を失わず、その都度、次の一歩を踏み出す。そうすることで新たな道が拓け、自分を一回りも二回りも成長させることができるのだと思います。

分教室でも生徒たちが成長できるよう、県立猪名川高等学校との交流及び共同学習に取り組んでいます。1学期には、交流体育祭が行われました。4ブロックに分かれて行うブロック演技では、それぞれのブロックが演技を競い合いました。猪名川高等学校の3年生にダンスを教えてもらい、分教室内でも練習を重ねました。体育祭の当日はみんな一丸となって精一杯演技をするので一体感が生まれ、会場の皆様も笑顔で包まれました。2学期には、交流文化祭が2日間実施されます。今年は4年ぶりに模擬店が再開します。分教室の生徒たちは、舞台上でエイサー(沖縄舞踊)を発表します。そのため夏休み前から少しずつ練習に取り組んでいます。一生懸命練習している様子を見ると、力強さを感じ、感動を覚えます。また、猪名川高等学校の生徒と一緒に共同アートを制作します。今年はどのような作品ができあがるか、今から楽しみです。他にも、芸術鑑賞会なども予定されています。交流活動を行うことで切磋琢磨し、人はさまざまな経験を重ねることで成長し、生きる力をつけるものと期待しています。

分教室の学校生活の様子をブログにも随時載せていますので、ぜひご覧いただけますと幸いです。

こちらの言葉は、私が恩師から教えていただいたものです。時々読んで自分を律しています。

|               |               |
|---------------|---------------|
| 夢のある者は 希望がある  | 希望がある者は 目標がある |
| 目標がある者は 計画がある | 計画がある者は 行動がある |
| 行動がある者は 実績がある | 実績がある者は 反省がある |
| 反省がある者は 進歩がある | 進歩がある者は 夢がある  |



夏季休業中、本校のスクールバスに置き去り防止を支援する安全装置を装備しました。  
詳細はホームページにて掲載していますので、ご覧ください。